

イーハトーブの科学と技術展 森の自然物で遊ぼう！

—草木遊びとワラぞうり作り—



8月22、23日イオンモール盛岡にて地域連携推進センター主催による「イーハトーブの科学と技術展」が開催されました。農学系技術室は森の自然物を使って遊ぶことができるブースとして、草木遊びとワラぞうり作りをそれぞれ体験できる2つのコーナーを設けて出店しました。当日は新型インフルエンザの流行にもかかわらず、多くの親子に参加していただき、非常に盛り上がったブースとなりました。

ワラぞうり作りは1日に2つの時間帯で行われ、ほかの体験コーナーよりも時間がかかるにもかかわらず、多くの参加者で賑わいました。芯縄を足にかける、ワラを編み込む、わらを縫るという体験は、子供たちはもちろん親も初めてで、親子一緒に一生懸命取り組んでいました。初めて自分で作った履き物、ワラの感触で、完成したワラぞうりを履いた子供たちは、喜びと発見の笑顔であふれていました。



草木遊びのコーナーでは身近な植物「イタドリ」で草笛を作成しました。この草笛は茎の長さ・太さで音が変わるため、自分だけの音を作れた子供たちは楽しそうに吹いて回っていました。また短時間でできる工作体験のため、人気ブースの1つになっていました。中には去年も来たという子供や、2日連続で来る子供、1日に数回作りに来る子供などリピーターも多くいました。笛を作る過程で木工用小刀等を使用しましたが、スタッフが技術を要する部分は手伝い、子供たちも道具の使い方を学んでいました。完成した笛の音色は吹いてみるまで分かりません。子供たちはその意外な音に自然と笑顔になり、体験の楽しさを実感している様でした。

